



『太平洋戦争はインドシナから始まったー「仏印進駐」、1940～1941年』

単著、Passés Composés出版及びフランス防衛省、2019年

## 時を編む仕事



フランク・ミシュラン氏

帝京大学

経済学部国際経済学科 教授

みなさまこんにちは。いかがお過ごしでしょうか。非常事態宣言の解除されたフランスでは、庭先に咲いた香りの良い草花を摘んでリボンをかけて花束にしたものを、ご近所の方が届けてくださった。そんな話をフランスに住む家族から聞きました。心が潤う話でした。

さて、私の活動ですが、日本の大学において、主に日本を中心にした近現代のアジア史の研究と教育をしております。数年前に、作家の三浦しをんさん原作の映画「舟を編む」を鑑賞しましたが、国語辞典の『大渡海』を何年もかけて地道に根気よく編纂していく物語の中で、加藤剛さん、松田龍平さんの「用例採集」の場面も、辞書を作る人間の姿としてとても印象的で、私の仕事に少し似ているような気がしました。

私の仕事は、決して華やかなものではありません。なぞらえていうならば歴史研究は「時を編む」のようなものです。日本語については、旧漢字カタカナ混じり文献や資料を読み込むことが多いので、日本の旧字は特に知っている方かもしれません、これも時代の変遷を学ぶ一部なので楽しいことです。また歴史の第一資料を色々な国で、できる限り探し、読み込んで分析し、時代の出来事を精査して繋げる。

それを繰り返して、本として出版、また記事、講演などで発表、歴史に関するドキュメンタリー作品の制作に参加することもあり

ます。教育では、日本の学生、他国から日本に学びにやってきた大学生に、日本語で講義をする歴史授業と英語で講義をする歴史授業をそれぞれ担当しています。コロナウイルスの影響で、今は遠隔授業と言って、授業講義を日本語と英語で録音し、学生に配信することも行っています。

他には時々、学生以外の皆様に向けて 1924 年に設立された東洋研究センターで文京区にあります東洋文庫にて企画展とタイアップし太平洋の歴史などの連続講座を日本語で開きました。

また日本やアジアの時事問題について、France Culture というフランス国営ラジオや、日本のテレビにも主に生放送で出演しお話しさせていただいたり、またフランス政府給費留学生として、日本の学生さんをフランスに送り出すために面接官を数年担当いたしております。

また、これからも日仏を含めた各国の相互理解と平和構築のため、微力ながらコツコツと努力をしていくつもりです。どうぞよろしく願いいたします。末筆になりましたが、みなさまが健やかに過ごされ、集うことができることを、心より願っております。

<https://www.franckmichelin.com>

写真の書籍は、日本で日仏会館、国際文化会館、明治大学、帝京大学、東京大学（予定）にて所蔵。

海外ではWorldcat (<https://www.worldcat.org>)によると39箇所所蔵されている。

- 米国：国会図書館、カリフォルニア大学バークレー校、スタンフォード大学、イリノイ大学、ミシガン大学、コーネル大学、コロンビア大学、ニューヨーク大学、プリンストン大学、ペンシルバニア大学、ハワイ大学マノア校
- カナダ：オタワ大学、ケベック大学モントリオール校
- フランス：国立図書館、リル大学、リル政治学院、ロレーヌ大学、ストラスブール大学、フランス海外学術院、パリ政治学院、エルネスト・ラヴィース図書館、サント・ジュヌヴィエーヴ共同大学図書館、ソルボン共同図書館、ナンテール近現代史図書館、リヨン・ジャン＝ムラン大学、リヨン市立図書館、リヨン政治学院、トゥルーズ・ジャン＝ジョーレス大学
- ドイツ：バイエルン州立図書館、
- スイス：チューリヒ大学
- 韓国：高麗大学